

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第2週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (2週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 4例。
- 3類感染症：報告なし。4類感染症：A型肝炎 1例、つつが虫病 1例。
- 5類感染症：後天性免疫不全症候群 1例、侵襲性肺炎球菌感染症 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型、病名	症状等
2類	結核	宮崎市	100歳代	女	結核性胸膜炎	発熱
		都城	60歳代	男	肺結核	咳、発熱
			80歳代	男	尿路結核	陰嚢腫大
			日南	50歳代	男	肺結核
4類	A型肝炎	宮崎市	60歳代	女	—	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常
	つつが虫病	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
5類	後天性免疫不全症候群	日向	30歳代	男	AIDS	食欲不振、全身倦怠感、帯状疱疹性神経痛、健忘、けいれん 指標疾患：カンジダ症、HIV脳症
	侵襲性肺炎球菌感染症	都城	60歳代	男	—	発熱、全身倦怠感、菌血症

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

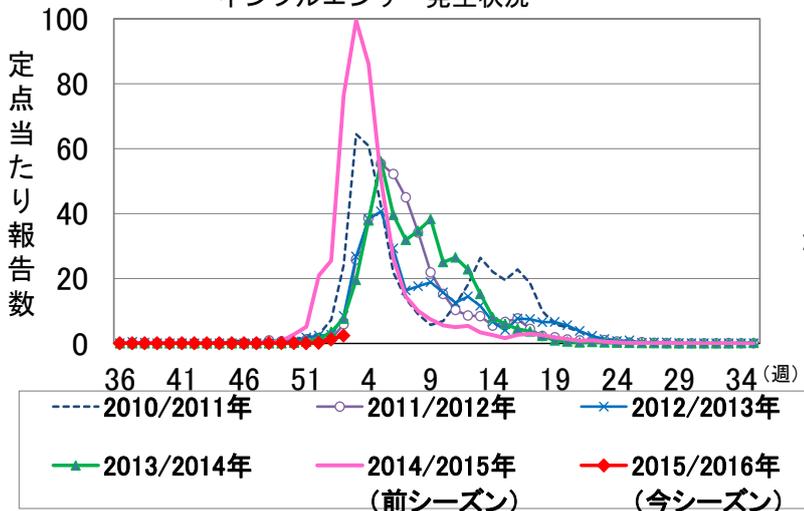
・定点医療機関からの報告総数は872人(定点当たり26.0)で、前週比89%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と流行性耳下腺炎であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

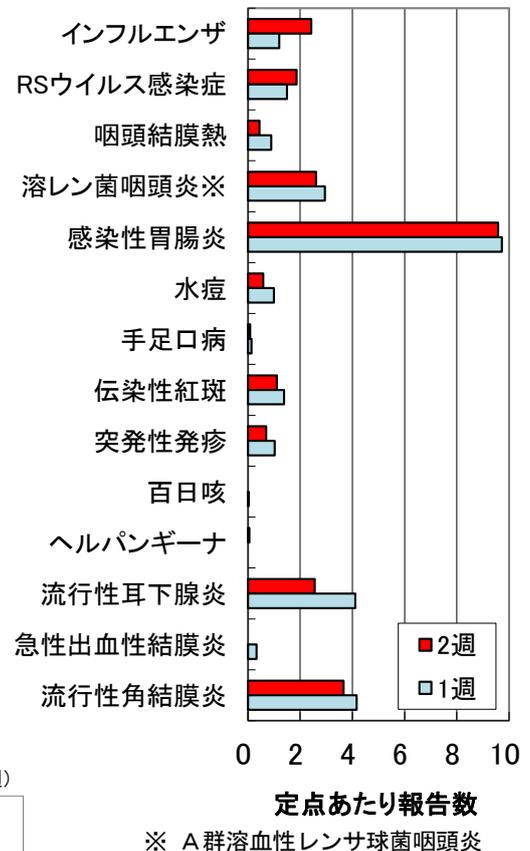
##### 【インフルエンザ】

・報告数は143人(2.4)で、前週比201%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(26.6)の約0.1倍であった。年齢別では5歳未満が全体の28%、5-9歳が36%、10-14歳が10%、15-19歳が6%、20-59歳が17%、60歳以上が3%を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値  
インフルエンザ 発生状況



### 《前週との比較》



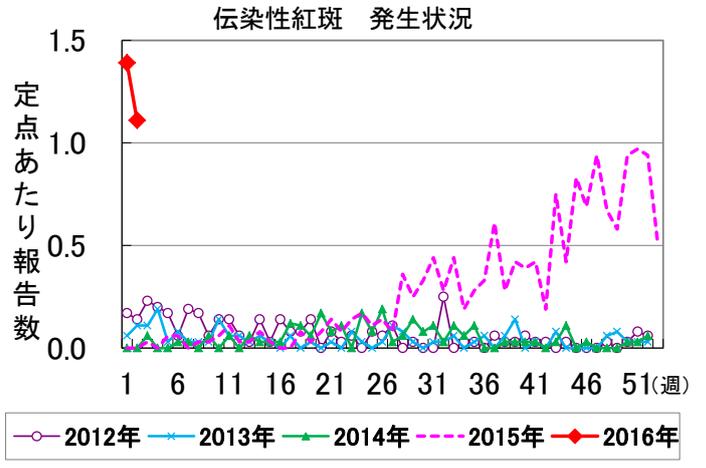
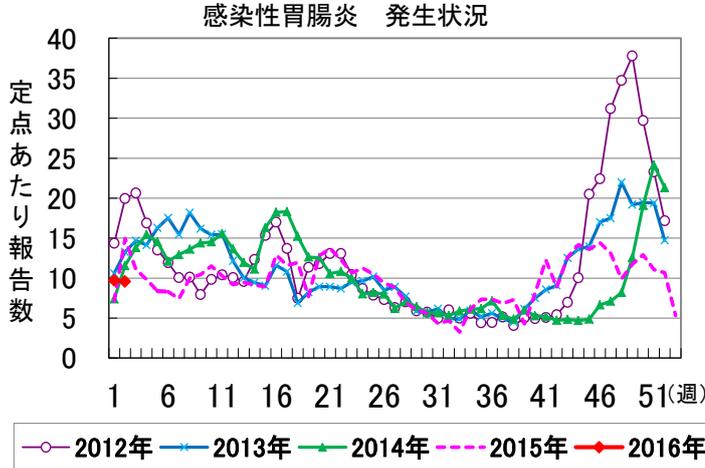
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【感染性胃腸炎】

・報告数は345人(9.6)で、前週比99%と横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値\*(14.0)の約0.7倍であった。日南(30.7)保健所からの報告が多く、年齢別では1~3歳が全体の約4割を占めた。

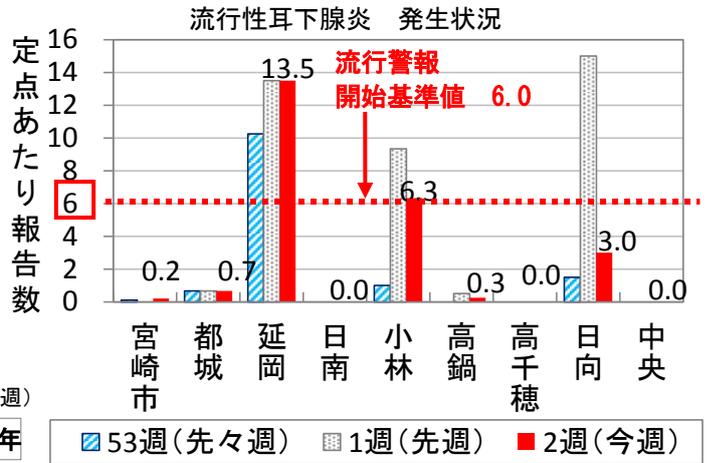
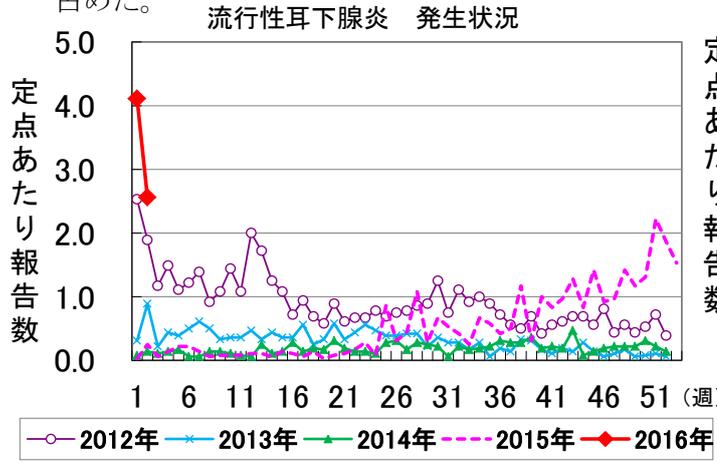
【伝染性紅斑】

・報告数は40人(1.1)で、前週比80%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.23)の約4.8倍であった。宮崎市(2.3)、高鍋及び高千穂(各2.0)保健所からの報告が多く、年齢別では4~6歳が全体の約半数を占めた。



【流行性耳下腺炎】

・報告数は92人(2.6)で、前週比62%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.98)の約2.6倍であった。延岡(13.5)、小林(6.3)保健所からの報告が多く、年齢別では4~5歳が全体の約4割を占めた。



★基幹定点からの報告★

- マイコプラズマ肺炎：延岡保健所から1例報告があった。5~9歳で抗体が検出された。
- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：日南保健所から1例報告があった。1~4歳で、病原体の群別不明。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	伝染性紅斑(2.3)
都城	なし
延岡	流行性耳下腺炎(13.5)
日南	感染性胃腸炎(30.7)
小林	流行性耳下腺炎(6.3)
高鍋	伝染性紅斑(2.0)
高千穂	伝染性紅斑(2.0)
日向	流行性耳下腺炎(3.0)
中央	咽頭結膜熱(3.0)、水痘(4.0)

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

\* 流行注意報レベル基準値 \*

- ・水痘(4.0)
- ・流行性耳下腺炎(3.0)

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 28 年 1 月 18 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	10歳代	男	2015.12.25	—	便	2016.1.7
EPEC(OUT:HNM)	30歳代	男	2015.12.29	—	便	2016.1.8
<i>Neisseria meningitidis</i> (血清群不明)	60歳代	男	2015.12.15	発熱(40.1℃)、関節炎、低血圧	血液	2016.1.8

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	材料	検出日
エコーウイルス25型	0～4歳	男	2015.12.15	エンテロウイルス疑い、38.5℃、発疹、紅斑	咽頭ぬぐい液	2016.1.18
RSウイルス	0～4歳	女	2016.1.5	RSウイルス肺炎、下気道炎、38.0℃	咽頭ぬぐい液	2016.1.13
インフルエンザAH1pdm09型	20歳代	男	2016.1.5	インフルエンザA型、39.5℃、関節痛	鼻汁	2016.1.6
インフルエンザAH1pdm09型	5～9歳	男	2016.1.4	インフルエンザA型、40.0℃、	鼻汁	2016.1.6
インフルエンザB型(ビクトリア系統)	20歳代	男	2016.1.13	インフルエンザB型、39.0℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2016.1.15

○インフルエンザ A 型と診断された 2 名からインフルエンザ AH1pdm09 型、インフルエンザ B 型と診断された 1 名からインフルエンザ B 型(ビクトリア系統)が検出された。全国のインフルエンザウイルス分離、検出状況をみると、AH3 型が 119 例、AH1pdm09 型が 89 例、B 型(山形系統)が 49 例、B 型(ビクトリア系統)が 36 例分離、検出されている。全国の 2016 年第 1 週のインフルエンザ定点当たり報告数は 2.02 となり、2015/2016 年シーズンで初めて全国的な流行開始の指標である 1.00 を上回った。また、宮崎県も全国同様に 2016 年第 1 週の定点当たりの報告数が 1.2 となり流行シーズンに入った。今後、インフルエンザの患者が増えることが予想される。インフルエンザの検査は、結果が出たらすぐに検出速報として随時掲載していく予定である。

🇯🇵 全国 2016 年第 1 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 1 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	310 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	10 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	9 例	A 型肝炎	2 例	つつが虫病	8 例
	デング熱	9 例	日本紅斑熱	1 例	レジオネラ症	14 例
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	15 例
	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例
	後天性免疫不全症候群	18 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	58 例	水痘（入院例）	6 例
	梅毒	38 例	播種性クリプトコックス症	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例
	風しん	3 例	麻しん	2 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 180%と増加した（前週年末年始の休診含む）。前週と比較して大幅に増加した主な疾患はインフルエンザと伝染性紅斑で、減少した疾患はなかった。

インフルエンザの報告数 9,964 人(2.0)で前週比 227%と増加し、流行期の指標となる 1.0 を上まわった。沖縄県(8.2)、秋田県(7.9)、新潟県(5.7)からの報告が多く、年齢別では、5 歳未満が 21%、5-9 歳が 19%、10-14 歳が 9%、15-19 歳が 4%、20-59 歳が 39%、60 歳以上が 8%であった。

伝染性紅斑の報告数 2,610 人(0.83)で前週比 259%と増加した。山形県(3.1)、鳥取県(2.6)、熊本県(2.5)からの報告が多く、6 県で流行警報開始基準値 2.0 を上まわっている。年齢別では、4～6 歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2016年 第2週(1月11日～1月17日)

疾病名		第1週	第2週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	71	143	17	24	19	13	25	5	1	33	6
	定点あたり	1.20	2.42	1.06	2.40	2.71	2.60	5.00	0.83	0.50	5.50	3.00
RSウイルス 感染症	報告数	54	67	11	4	22	12		2		16	
	定点あたり	1.50	1.86	1.10	0.67	5.50	4.00	0.00	0.50	0.00	4.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	32	16	3	1	4	2				3	3
	定点あたり	0.89	0.44	0.30	0.17	1.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.75	3.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	106	94	38	7	12	14	4	7		10	2
	定点あたり	2.94	2.61	3.80	1.17	3.00	4.67	1.33	1.75	0.00	2.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	350	345	70	66	19	92	45	28	1	20	4
	定点あたり	9.72	9.58	7.00	11.00	4.75	30.67	15.00	7.00	1.00	5.00	4.00
水痘	報告数	36	21	9		4	1		1		2	4
	定点あたり	1.00	0.58	0.90	0.00	1.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.50	4.00
手足口病	報告数	5	3			3						
	定点あたり	0.14	0.08	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	50	40	23	4	2		1	8	2		
	定点あたり	1.39	1.11	2.30	0.67	0.50	0.00	0.33	2.00	2.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	37	25	8	1	4	4	2	1	1	2	2
	定点あたり	1.03	0.69	0.80	0.17	1.00	1.33	0.67	0.25	1.00	0.50	2.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		2	1		1						
	定点あたり	0.00	0.06	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	148	92	2	4	54		19	1		12	
	定点あたり	4.11	2.56	0.20	0.67	13.50	0.00	6.33	0.25	0.00	3.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数	2										
	定点あたり	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	25	22	15	7							
	定点あたり	4.17	3.67	5.00	3.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	4	1			1						
	定点あたり	0.57	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1				1					
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～2週)

2類感染症	結核	13例(4)			
4類感染症	A型肝炎	1例(1)	つつが虫病	3例(1)	
	アメーバ赤痢	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
5類感染症	後天性免疫不全症候群	1例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	1例(1)	

( )内は今週届出分、再掲